

学校だより

蛍雪の里

東藤島小学校



R3.7月号



気温が高くなるとともに、子どもたちが育てている朝顔やミニトマト、ホウセンカ、学校畑の野菜がグングン大きくなっています。そして、植物以上に成長しているのは子どもたちです。間もなく1学期の前半が終わろうとしています。子どもたちはたくさんの知識や技能を身につけ、心身ともにひとまわり大きく成長しました。

学校は7月21日から8月26日まで夏休みとなります。長期休業中にしかできない家庭での体験やお手伝いをして、充実した夏休みを過ごしてほしいと思います。

《ブルーベリー収穫体験》

5年生が、「まやまさんのブルーベリー園」で果実の収穫体験をさせていただきました。まず、グループで完熟した果実をかごにいっぱい収穫しました。5年生は社会科で農業の学習をするため、この体験は、教科書にはない農業の取り組みの1つとして、豊かな学習となりました。

収穫の後は、様々な種類のブルーベリーを思う存分味わいました。普段家庭では、数粒を遠慮しながら食べるものですが、この日は子どもたちも口いっぱい頬張り、満面の笑顔でした。さらにお土産として、パックに一人一人が詰めさせていただきました。地域の皆様の温かいご協力に感謝いたします。



《あいさつ運動》

コロナ禍のため昨年はあいさつ運動を控えていましたが、今年は感染に注意しながら、生活委員会が中心になってあいさつ運動が行われています。児童玄関辺りでは、気持ちの良いあいさつの声が響くようになってきています。

よく「あいさつは大きな声で元気よく」と言いますが、私はそのようなアピール型のあいさつを求めなくてもよいのではないかと考えています。卒業生の多くが自転車通学で大東中学校に通いますが、お世話になった先生を見かけても、大きな声でのあいさつはなかなかできることはありません。でも、目を合わすことや笑顔になること、小さく会釈することであればちゃんとできていて、それはあいさつとして先生方にも伝わっています。大人は目を合わせて適度な声であいさつをするのが通常ですからね。

本校には、休み時間などで廊下で出会うと「こんにちは」と声をかけてくれる他校にはない学校文化が根付いています。あいさつは何度されても気持ちの良いものです。「目を見て」や「笑顔で」を大事にして、気持ちの良いあいさつをしようと指導していきたいと思います。



○業務推進日について

4月の市教委からのお知らせでお願いしていた教職員の業務推進日について、本校でも9月以降に取り組みたいと考えています。各学年の授業時数については、国が定める標準時数を上回る予定です。実施予定日については、今後の学年だより等でお知らせしますので、ご確認願います。